

受 付	個 人 質 問 令和 年 月 日	第 号 時 分
--------	---------------------	------------

一 般 質 問 < 個 人 > 発 言 通 告 書

令和7年8月20日

長久手市議会議長 殿

長久手市議会議員 田崎あきひさ

会議規則第59条第2項の規定により下記のとおり通告します。

	質 問 事 項 及 び 要 旨	備考
1	令和6年度決算を踏まえた持続可能な財政運営について (1) 公共施設の修繕について、令和6年度の修繕費執行状況と、壊れる前に点検や交換などの予防保全の効果をどう見ているか。また、令和8年度予算編成に向け、計画的な修繕費の確保をどのように基本方針として位置づけるのか。 (2) ふるさと納税の実績について ア ふるさと納税収支の推移はどのようなか。市長はどのように評価し、改善策を描いているか。 イ 寄附が集まる自治体と比べ、本市の対象事業の魅力をどう高めていくのか市長の見解はどうか。 (3) 市長就任以来の地方債残高と基金残高の増減を市長はどう評価し、今後の公共施設整備や社会保障経費の増大を見据え、どのような財政戦略で市民生活を支えるのか。	
2	香流川洪水浸水想定区域と要配慮者支援体制について (1) 令和7年3月に新たに指定された浸水想定区域内の要配慮者利用施設（保育園・高齢者施設・障がい者施設等）は何か所あり、影響をどう把握するか。 (2) 要配慮者利用施設の避難確保計画策定状況と市の技術的支援の実施状況はどうか。	

	(3) 浸水想定区域内施設との連携体制について、情報伝達体制と施設利用者の避難先確保の方針はどうか。 (4) 指定避難所の非常用自家用発電機設置数と、稼働体制整備状況はどうか。	
3	企業版ふるさと納税の戦略強化等について (1) 本市の企業版ふるさと納税の実績について ア 寄附受入額と件数の推移はどうか。 イ 寄附企業の業種別内訳と企業規模はどうか。 ウ リピート寄附企業の割合と、継続的な関係構築についてどのように考えているか。 (2) 寄附が集まる自治体と比べ、本市の営業戦略や事業の魅力度、フォロー体制の違いをどう分析するか。 (3) 成功自治体の専門人材配置や外部委託活用を参考に、本市はどのような体制整備が望ましいと考えるか。	
4	佐藤市長の考える施政全般に対する方針について 「見える」「届く」「変わる」を掲げた市長のまちづくりビジョンについて問う。 (1) 長久手市景観条例に基づく『景観まちづくりサポーター』制度は、施行から4年間申請がゼロである。市長はこの実績をどう受け止め、制度の見直しや今後の方針をどう考えるか。 (2) 子育て世帯訪問支援事業は、児童虐待のリスクがある要保護・要支援児童として支援しているケースのうち、養育について支援が必要な家庭に対し、居宅にヘルパーを派遣し、適切な養育の実施を確保するとしているが、要保護・要支援児童の支援世帯数の推移はどのようにで、把握経路の傾向や課題をどう整理し、体制強化をどのように進めるか。 (3) 放課後等デイサービス事業の現状と課題について 本市の経常収支比率は高水準にあり、事業総点検により歳出削減を進めている状況である。一方で、放課後等デイサービス関連予算は年々増加している実態がある。 ア 関連予算の増加実態と財政への影響をどう捉えるか。 イ 必要な支援確保と持続可能な財政をどう両立させるか。 ウ 市として主体的に実態を把握し、県・国任せでない総合的な児童支援体制構築の方針はあるか。	

	(4) 小学校体育館空調設置について「予算規模や財源が明らかになった段階で全体の事業スケジュールを示す」と答弁したが、どこまで進捗し、市長の見通しはどう具体化されたか。 (5) 杵ヶ池体育館大規模改修工事期間の、小中学校開放の強化にめどはついたか。	
--	--	--